



東村山稲門会ニュース

第321号

ホームページ <https://higashimurayama-waseda.jp/>



令和6年10月12日発行
発行責任者：山本 岩男
編集長：藤井 省栄
編集者：伊藤 栄

11月24日（日）第29回総会のご案内

★★ サンプルネにお集まりください ★★

東村山稲門会の第29回総会が下記の通り開催されます。当会は、1996年11月に設立され、今年で満28年を迎えます。昨年に引き続き、コロナ以前の状態に戻して総会を実施します。今後5年先10年先を見据え、さらに魅力ある東村山稲門会を構築し、発展して行きたいと思っております。是非とも多くの会員の皆様のご出席をお願い申し上げます。

総会次第

1. 日 時 11月24日（日） 14:00～18:00
2. 場 所 サンプルネ・コンベンションホール（東村山駅西口 ワンズタワー2階）
3. 通常総会 14:00～15:00
議案：活動報告、会計報告・監査報告、活動計画、予算案、役員改選
4. 講演会 15:00～16:00
講師：渡部 尚（わたなべ たかし）氏 東村山市長
演題：「市制60周年終了後の今後の東村山行政」
5. 懇親パーティー 16:00～18:00 早稲田大学ニューオルリンズジャズクラブ他

☆当日、年会費5,000円及び懇親会費5,000円のお支払いをお願いします。

☆出欠については、同封の葉書にて10月29日（火）必着にて返信をお願いします。

<第122回市民雑学講座 映画会のご案内>

映画「おくりびと」

日時：12月22日（日）14:00～16:10（開場13:45）

会場：サンプルネ・コンベンションホール（東村山駅西口 ワンズタワー2階）

地味で触れがたいイメージの納棺師という職業をテーマにしながら、ユーモアを絶妙に散りばめて、愛すること、生きることを紡ぎ出す異色の感動作。

監督は滝田洋二郎。本木雅弘、山崎努、広末涼子、余貴美子が好演。



日本アカデミー賞の作品賞を始め多くの部門を総なめにしたほか、米国アカデミー賞外国語映画賞、モントリオール世界映画祭グランプリなど、多くの映画賞を受賞し、世界中を温かな感動で包んだ名作をご家族、お知り合いの方々とお誘い合わせの上、お楽しみ下さい。

（吉田 勝 記）

会からのお知らせ

○令和6年11月定例役員会

日 時 11月9日（土）14:00～16:00

場 所 ふるさと歴史館

○新入会員 中村 幸宏さん （昭和57年 商学部卒）

○他稲門会関連 小平稲門会総会

10月27日（日） 小平市民文化会館（ルネ小平）

出席者：町田 光高、小野 浩一

役員会だより

9 月 14 日（土）役員会の概要報告

1. 行事関連

- ①市民雑学講座（9 月 21 日（土））
 - ・配布資料を基に、当日の運営等を確認した。
- ②市民雑学講座（12 月 22 日（日））
 - ・映画会として開催するが、上映作品は「おくりびと」と決定した。
- ③お誕生会（8 月 10 日（土））
 - ・5～8 月生まれの方を対象（18 名出席）にお祝い者 4 名を加えた計 22 名で開催した。
 - ・次回は 12 月 14 日（土）開催を予定。
- ④納涼会（8 月 24 日（土））
 - ・ケータリングは昨年よりも充実した内容となった。
 - ・アトラクションを依頼した団体（越中おわら）から、当会と早稲田祭スタッフへ寄付をいただいた。

2. 各種会議出席報告

- 三多摩支部大会（8 月 31 日（土））
・当会から 8 名が参加した、田中総長の講演もあり良い大会であった。

3. 新入会員募集活動

募集活動担当者に対して、活動方法等の説明を行った。今後 10 月末を目途に募集活動を行う。

5. 総会（11 月 24 日（日））

実施要領を説明し、内容の確認等を行った。

参加者が皆で踊った 2024 年「納涼会」

8 月 24 日、サンパルネ・コンベンションホールにて 2024 年度の納涼会が開催されました。定刻の 14 時に進行係の平井さんの開会の辞で始まり、続いて町田副会長兼事務局長が開会の挨拶を行いました。町田事務局長は、富山には若い頃に 3 年半程赴任していたことがあり、おわら風の盆にも行ったことがあるので、本日の「越中おわら風の華東村山社中によるアトラクション」は楽しみにしていると述べられました。また本日の納涼会には早稲田祭 2024 運営スタッフ 3 名が参加しており、後ほど 3 名が募金のお願いに伺うので協力をお願いしたい旨が伝えられました。また「町田事務局長が直接山梨から調達したシャインマスカットが本日の参加者へのおみやげとして配られる」ということが、もう一人の進行係である小森さんから告げられると、参加者からは大きな拍手が送られました。

続いて東村山稲門会の発起人の一人として当会の立上げに尽力された当会元会長の三宅さんから、ご挨拶一言と乾杯のご発声をいただき、歓談が開始されました。進行係の平井さんから今回の納涼会のテーマは「あなたにとっての早稲田とは」であることが告げられ、さらに会員の田代光一さんからお酒の差し入れがあったことが告げられると、再び参加者から大きな拍手が送られました。

（次ページへ続く）



(前ページより)

しばしの歓談のあと、早稲田祭スタッフ3名の自己紹介と寄付支援要請の挨拶がありました。それに続いて当会からの寄付金が町田事務局長より手渡されました。その際、昨年の寄付実績について進行係の平井さんからそれとなく水を向けられると、「県支部など大きな稲門会を除き全国の市町村における稲門会の中でみると、東村山稲門会及びその会員からの合計支援金の額が一番多かった」との報告が早稲田祭スタッフからなされたので、一層大きな拍手が送られることとなりました。

また阿部副会長からは稲門祭記念品グッズ紹介と購入支援の挨拶がありました。まず初めに「稲門祭記念品グッズでは、品物を大体市価の倍くらいで販売させてもらっている」というユーモアを交えた紹介がなされると、会場は大きな笑いの渦に包まれました。そして記念品グッズの趣旨として、その販売額の約半分が現役学生たちの支援に使われるということが告げられ、今回、東村山稲門会では15万円の売り上げがあったとの報告がなされました。それに続き、越中おわら風の華東村山社中の皆さん6名による踊りのアトラクションが開始されました。おわら踊りにはいくつかの種類がある中、今回は”女踊り”と”流し踊り”を披露するとの説明がありました。

アトラクション第一部が終わると「あなたにとっての早稲田とは」というテーマで以下の方々から挨拶がありました。平成6年卒の上町さんからは、「学生時代にも卒業してからも飲み会の機会を与えてくれる大切な場」、昭和58年卒の堀江さんからは、「早稲田大学は心のふるさと」、平成7年卒の山森さんからは、「一期一会の機会を与えてくれると期待できる場」、昭和56年卒の安井さんからは、「同窓のよしみで助け・教え・心配をいただけたところ」、昭和56年卒の中沢さんからは、「親父さんが好きだった大学であり、自分が入学したことで親孝行を実現させてくれたところ」との話がありました。また学生時代には大学に行かずに絵ばかり描いていたという昭和44年卒の一色さんからはご自分で描いたデッサンをその場でご披露いただきました。



それぞれの挨拶と並行して、早稲田祭スタッフが参加者に寄付を呼びかけました。途中経過の報告として寄付額が9万円台になり、(10万円の大台にあと一步)町田事務局長から「大台! 大台!」との掛け声がかかけられると、それに何名かが応じるという一幕があり、ついに大台を越え、105,800円の寄付が集まりました。

その後のアトラクション第二部では、越中おわら風の華東村山社中6名からの指導を受け、会場内の多くの参加者が加わって素踊りを踊りました。

アトラクション第二部の後には集合写真の撮影が行われ、続いて元応援部の小森さんの主導のもと、「東村山稲門会の歌」と「校歌」が斉唱され、エールにて締め括られました。

最後に野村さんから閉会の辞が述べられ、無事閉会となりました。

参加者はそれぞれ、シャインマスカットのおみやげを手し、三々五々帰宅の途につきました。

出席者計 会員43名(敬称略)

青山稔、阿部茂、石井久長、一色泰久、伊藤栄、井原徹、伊吹史郎、大内一男、大森平八郎、尾島敏雄、小田弘史、小野浩一、加藤正俊、上町弓子、紅松容子、黒田祐司、小林裕子、小森敏孝、崎山裕子、清水聡、杉本優、高橋文子、高橋正夫、高柳剛、滝来洋二、田口政澄、田島隆夫、田代光一、太刀岡貴司、田邊正史、戸田志郎、富澤文雄、中沢義則、野村茂樹、平井康雄、藤井省、堀江泰夫、町田光高、三宅良太、安井慶治郎、安田忠治、山森貴司、吉田勝

(田邊 正史 記、 大内 一男 写真)

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

書道同好会

世話人：大森 平八郎



8月31日第81回 参加者10名(敬称略)： 赤荻(元会員夫人)・市川(彰)夫人・上(素)・崎山・杉本・田代・宮元夫人・吉澤・大森夫妻。台風10号の影響で何名かの欠席を心配しましたが多数の参加があり、ホームページの当会の案内に載せる写真を撮りました。三宅氏は東京三多摩支部大会があり全員でないのが残念ですが次回は全員揃ったものになりたいと思います。年内に書き上げる色紙の文言が田代氏の助言を得て略々決まりました。これから練習を重ね納得出来る作品に仕上げて参ります。早速半紙に書いて添削を希望される方もおりました。また楷書の手本と田代秋鶴先生の作品が配布され、いつもどおりに臨書された方に添削を行い、予定時間を少し超えて終わりました。



後 列：左から崎山、吉澤、杉本、大森、田代
前 列：左から宮元、大森、市川、赤荻、上(素)

*第83回開催日 10月30日(水)
*第84回開催日 11月30日(土)
(注)10月31日は市文化祭で使用不可の為
前日30日となります。

○開催日：毎月末日。
但し、公民館は月曜日が休館の為、
月末が月曜日の時は前日(日曜日)
○開催時間：午後3時40分～5時
○開催場所：萩山公民館

園芸の会

世話人：當間 昭治



今年の夏も昨年に続き猛暑でした。9月になっても記録的な残暑で、花卉や野菜等の作物は生育に大きな影響を受けています。これからはこの暑さがあたり前で、異常気象という言葉が当てはまらなくなるかも知れません。皆さん、秋まき草花の準備はいかがでしょう？下記にて例会を開催します。多くの苗が集まる事を期待しています。

秋まき草花の苗の交換会

*日 時：11月5日(火) 14:00～15:30
*場 所：市民センター 第5会議室

囲碁同好会

世話人：青木 淳



9月5日(木)12:30より社会福祉センターにて例会を開催しました。今回も在籍会員14名中、参加者6名と低調でした。しかし、しばらく欠席が続いていた福田七段が久々に参加され自由対局と共に初心者への指導碁を実施していただきました。今回は初心者として奮闘している杉本優氏(昭52年法卒)よりの感想文を紹介します。

「(杉本さんの感想文) 超初心者の杉本です。初心者用の13路盤からようやく本格的な19路盤を始めたところですが、対局表の終わりの方に勝ち点が出て来ればOKと思い、会に参加させて貰ってます。参加の動機も世界一複雑なルール of 麻雀は長年やってきたので、退役を機に世界一シンプルなルールの囲碁というゲームを始めようか考えた次第です。今日は福田七段のレクチャーで先手の黒は6目半のアドバンテージが有り、ハンデで貰って居る置石も大量のアドバンテージである事を再認識させて頂きました。ちょっとは思考パターンがわかるかなというところです。今後とも宜しくお願いします。」

*次回例会は・10月1日(火)12:30～16:30 社会福祉センター第1会議室
・11月5日(火)12:30～16:30 社会福祉センター第1会議室
*参加者6名(敬称略)：青木(淳)、一色、荻野、杉本、田島、福田

ウォーキングの会

世話人：真泉 順一
杉本 優



多摩湖周遊ウォーク&バーベキューのお誘い

世話人が交代して初めての企画です。不慣れで不行き届きな面もありますが、宜しくお願いします。秋の一日、歩いて・食べて・飲んで・大いに語り合しましょう。

- *開催日時：11月7日（木）10:00～15:00
- *集合場所：都立狭山公園 堤防口 「W」旗が目印 地図参照
- *ウォーキングコース：多摩湖 1週約7km
- *バーベキュー会場：貯水池島山
- *解散場所：集合場所と同じ堤防口
- *参加費：4,000円／人（当日徴収）
- *申し込み：「お問い合わせフォーム」から世話人にお申し込み
- *悪天候により中止と判断した場合：前日15:00にメールか電話
- *新入会員・ご家族の皆様も大歓迎です。



(真泉 順一 記)

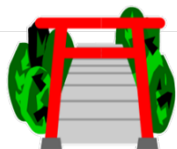


ここが集合場所の都立狭山公園堤防口
多摩湖自転車歩行者道を武蔵大和駅西
交差点から600mほど歩く。
途中約200mに「南門」があるが、ここ
は入らずに直進する。
「多目的広場」を過ぎてさらに直進すると
堤防口がある。
交番(村山貯水池駐在所)と公衆トイレ
および駐車場ゲートが目印。この付近に
W旗を立ててお待ちしています。



郷土史の会

世話人：阿部 茂



東村山市の『川』を巡る

東村山市は川の少ない街で、水が流れている川は北川、前川の二つしかありません。が、人工の川とか、雨が降った時だけ流れる川もありますのでそれらを巡ってみたいと思います。

①久米川駅から新青梅街道を都心方面に向かって少し歩くと街道の左側に溝があり、それが大雨が降った時だけ流れる出水川です。②少し先に行って信号を渡り、小平霊園の中に入ると窪地がありますが、そこが黒目川の源流です。少し雨が降れば水が流れるようですが通常は水なし。流れ（た跡？）に沿って進むとあちこちから水が染み出てくる雰囲気があります（下流になると、滔々と流れる清流に成長します）。左折して進むと先ほどの出水川（水はない）を渡って野火止用水に出ます。③野火止用水（水あり）を左（上流）に向かって歩き、水車小屋を見学。④空堀川（水なし）を上流に向かって歩きます。状況によって異なりますが、通常は上流から西武線のガード下までは水があり、線路を境に水がなくなるようです。空堀川は一昔前までは大雨が降るとあちこちで氾濫して大変だったそうです。大雨の後、老人（つまり我々）は川の増水を見に行きたくなるそうですが、事故のもとですので控えましょう。久米川駅で解散とします。

*開催日時：11月16日（土）10:00～13:00

*集合場所：西武新宿線久米川駅北口改札前

天候が怪しいときは9:00までに「お問い合わせフォーム」から世話人に確認をお願いします。

麻雀同好会

世話人：阿部 茂
工藤 崇士



第 97 回大会の結果ご報告

9月8日(日)、残暑厳しい中、久しぶりに8名2卓で開催しました。会場の雀荘 サロン「園」は、アクリル板の衝立で麻雀台を区切っており、感染対策を施した中での対戦となりました。参加者は、田口、當間、青木淳、杉本、町田、阿部茂、工藤に小平

稲門会から山口さん参加での開催、にぎやかな対局となりました。8月号で「世話人でもある阿部さんが優勝する回が多いような気がします。」と投稿したところ、今回は當間さんがダントツで優勝、町田さんが準優勝、第3位青木さんという結果になりました。その後、都合の良いメンバーにより、東村山駅前の居酒屋で恒例の懇親会となりました。



* 第 98 回大会のご案内

・12月1日(日) 12:30 ～ サロン「園」

にて実施予定。会費：4,000円。

12月も2卓で盛大に開催したいと思います。麻雀同好会は3、6、9、12の各月の日曜日に開催しています。会費（雀荘代金）以外の費用もかかりません。「学生以来やってないなあ」という方も、初心者も大歓迎です。参加申し込みをお待ちしています。

締 切：11月24日（日）までに、「お問い合わせフォーム」から、世話人の阿部または工藤までご連絡ください。
(工藤 崇士 記)

テニス同好会

世話人：吉田 劭文



-例会開催報告-

例会は9時から4時間が原則

8月実績	開催回数	開催時間	総参加者	1回当たり平均参加者
	6回	13時間	39人	6.5人

<8月下旬～9月中旬の活動>

8月25日(日)：前夜の豪雨で予定した前川コート(クレ)は利用できず、急遽運良く柳泉園コートに変更して開催。柳泉園は令和4年5月以来。同年9月に前川公園コートが供用開始されてから柳泉園を利用することはなくなっている。8月28日(水)：練習開始直前に雨が降り始めたが20分後に止み5人で約3時間を楽しんだ。9月2日(水)：風がやや強い中、基本練習後、6名で8試合実施。風の影響で実力より運が介在したケースも散見された。9月6日(金)：毎月一回開催する金曜日だけは開始時間が11時。8名が参加しダブルス戦5試合を実施、全試合が「2対2」の引分けの珍事。8月初めに負傷された定方様が応援に駆け付け差入れの美味しい冷菓で全員が元気を取り戻した。9月11日(水)：世話人から近々退任する意向が示された。9月15日(日)：高柳さんが5カ月ぶりに参加、試合では長身を活かしての鋭いサーブや威力あるハイボレーを披露した。9月18日(水)：彼岸入り前日にも拘らず10時には33度の暑さ。この暑さの影響もあり5人が11時過ぎに退場した。

開催日	時間	人数	参加者名(五十音順・敬称略)
8/25	2H	5人	千葉・富澤・山口・吉田(劭)・吉原
8/28	3H	5人	田島・野村・平井・吉田(劭)・吉田勝
9/2	2H	6人	黒田・野村・平井・安井・山口(修)・吉田(劭)
9/6	3H	8人	石塚・滝来(京)・田島・野村・平井・吉田(劭)・吉田勝・吉原
9/11	3H	6人	石塚・田島・當間・富澤・吉田(劭)・吉田勝
9/15	2H	6人	高柳・滝来(京)・野村・平井・山口(修)・吉田(劭)
9/18	3H	8人	石塚・黒田・田島・當間・富澤・野村・平井・吉田(劭)

俳句同好会

世話人：黒田 祐司
副島 健
中沢 義則



ようやく秋らしい気候となり、近くの小学校の校庭から運動会の様々な音が聞こえてきます。子供達が小さかった頃にはよく応援にかけつけたものです。お孫さんの運動会を楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

西村和子に「運動会午後へ白線引き直す」という句があります。いよいよクライマックスの午後の部がはじまるぞといった緊張感が伝わってきますね。平和の中、親子ともども楽しめる運動会が長く続くことを祈っています。

今回ご紹介するのは8月の第135回稲酔句会で最高得点となった山口泰山さんの句です。特選に選んだお二人の評の通り、世界中で戦火が止まない中、子供たちの平和を願う強い気持ちが顕れた句だと思います。

終戦日眼優しきちひろの絵

泰山

ねここ評「世界中から戦争がなくなりますように」という想いをちひろの絵にすべて託した句作りが素晴らしいと思いました。

豆乳評「いわさきちひろは好きな画家で、かわいい子どもの絵が多い。無垢な子どもたちを戦禍に巻き込んではいけないという祈りの句だと思う。」

次回の第136回稲酔句会は10月24日(木)13:00(東村山社会福祉センター)を予定しています。

俳句に興味、ご関心のある方は「お問い合わせフォーム」から副島(そえじま)までご連絡ください。

(副島 鶴来 記)

会員だより

かくして東村山へ

山上 豊（昭和 49 年政経。野口町在住）



今年で東村山に転居して 15 年目になります。新潟県立新発田高校を卒業、新宿を皮切りに高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪そして国分寺へと中央線を西に転居すること 4 回、京王線府中に住まいを求めて 20 数年、かの地が終の棲家と思っていましたが縁あってか東村山に。

引っ越してきた当初はあか抜けない街との印象でした。ただ農村に生まれ育ち、子供時代は野山を駆け川遊びに興じ、社会人になってからは山歩きを趣味としてきた私にとって、農園が点在し、低いながら尾根歩きができ富士山から奥多摩・秩父への山並みも展望できる、うれしくなりました。更到大伽藍こそないが国宝があり、都内で数少ない造り酒屋もある。高校時代の一時期、酒蔵に下宿していたこともありこれにも感激しました。

特に完全リタイア後、コロナ禍の行動制限で旅行もままならず運動を兼ねて車では通らない裏通りまで市内全域を歩き回る内に、街に溶け込んだ寺社や史跡のあるこの地域への興味と親しみが一層強くなりました。

リタイア後にやっていることといえば自分のためのことばかり。弱くなった足腰と腰痛対策のストレッチと筋トレ、現役時代にはなかなか行けなかった観劇や美術館・博物館巡り、その延長のカルチャー教室や市民講座、落語会なども最近の楽しみになっています。

山歩きといえば諦めもせず今も山の会に名を連ねていますが、最後のテント山行は 10 年ほど前のこと、年に数回の近場の日帰りがせいぜいで、最近は気ままな一人歩きや有志との山菜探しが多くなりました。また温泉旅行のついでに夫婦で高山植物をめ、時に雪遊びに興じていますが、これもあと何年のことか。芸なしですがよろしくお願いします。

こころに残った秀句

菊田 哲（俳号・一平）（昭和 50 年法。青葉町在住）



俳句を始めてほぼ 35 年。いい句と出会うたびにノートに書き溜めている。今年もこんな句に出会った。

頭を深く伏せ極月の赤蜻蛉 小坏健水

「頭を深く伏せ」と入った上五、中七の掴みが上手い。トンボの静止の瞬間を余すところなく伝えている。

トンボ採りにはコツがある。トンボは竹竿や枝の先に止まるとしばらく目玉を左右に動かしてあたりを窺ったり、不自由そうに足を動かして位置と方向を変えたりもする。その確認作業が終わると頭と翅をわずかに沈める。この瞬間こそが捕獲のタイミング。

けれども、「赤トンボは秋のもの」と思っていたから「極月の赤蜻蛉」の表記に少し違和感を覚えた。「極月」とは「ごくげつ」と読み季節で言えば「12 月」のことだ。

昆虫図鑑を調べてみた。「アキアカネ（赤トンボ）は平地が涼しくなる 10 月ごろに高地から平地へ移動し（中略）ため池や水田などに産卵し、12 月上旬頃までにその一生を終える」とある。さらには、「（トンボは）変温動物のため（中略）気温が下がると太陽の光を浴びて体温を上げなくてはならない。そこで、できるだけ広い面積に日光を当てて、効率よく体温を上げるため、日光の角度を調整しやすいように止まる習性がある」とある。

措辞の「極月の赤蜻蛉」は「産卵を終えてその一生を終える前の姿」だったのだ。形容詞的に使った「極月の」が切ないほどに効いている。また、捕獲のタイミングと思った一連の動作は、「トンボが日光を効率よく翅に取り込むために日光の角度を調整している」作業だったのだ。

そんなこんなを思いながら再読すると、掲句は、つくづく写生を超えて「生きとし生けるもの」の姿を活写している秀句であると感心した。と同時に、俳句はなかなか奥の深いものだった。

同好会・イベント 短期予定表					―：対象月に開催予定無し、＊：ニュース編集時点で未定。					
同好会・行事	10 月				11月				世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	日	曜	時 間	場 所		
ウォーキングの会	―	―	―	―	7	木	10:00～15:00	狭山公園堤防口～貯水池鳥山	真 泉 杉 本	
郷土史の会	―	―	―	―	16	土	10:00～13:00	久米川駅北口改札	阿部茂	
テニス同好会	4	金	11:00～15:00	運動公園 C	3	日	9:00～13:00	前川公園 A	吉田(劭)	
	9	水	9:00～13:00	運動公園 C	8	金	11:00～15:00	運動公園 C		
	13	日	11:00～13:00	前川公園 C	10	日	9:00～13:00	前川公園 A		
	16	水	9:00～13:00	運動公園 D	13	水	9:00～13:00	運動公園 C		
	19	土	9:00～13:00	前川公園 A→C	18	月	9:00～13:00	運動公園 C		
	23水,27日。詳細はHPカレンダー参照。				20水,25月,30土。詳細はHPカレンダー参照。					
囲碁 同好会	1	火	12:30～16:30	社会福祉センター第1会議室	5	火	12:30～16:30	社会福祉センター第1会議室	青木(淳)	
カラオケ同好会	10	木	14:00～17:00	多摩湖ふれあいセンター	14	木	14:00～17:00	多摩湖ふれあいセンター	黒 田	
園 芸 の 会	―	―	―	―	5	火	14:00～15:30	市民センター	當 間	
麻雀 同好会	―	―	―	―	―	―	―	―	工 藤	
音楽 同好会	17	木	14:00～16:00	恩多ふれあいセンター多目的室	―	―	―	―	高橋(文)	
俳句 同好会	24	木	13:00～16:00	多摩湖ふれあいセンター	―	―	―	―	副 島	
ゴルフ同好会	―	―	―	―	―	―	―	―	紅松 喬	
グローバルサロン英語の会	―	―	―	―	―	―	―	―	山 本	
女 子 会	―	―	―	―	―	―	―	―	滝 川	
早稲田スポーツ を応援する会	野球	―	―	―	10	日	12:30～17:00	神宮球場第6番ゲート入口	小 森	
	ラグビー	―	―	―	23	土	13:30～16:00	秩父宮ラグビー場		
書 道 同 好 会	30	水	15:40～17:00	萩山公民館	30	土	15:40～17:00	萩山公民館	大 森	
写真を楽しむ会	―	―	―	―	―	―	―	―	藤 井	
パソコン同好会	5	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	2	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	小 菅	
	19	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	16	土	13:00～15:00	シルバー人材センター		
総会	―	―	―	―	24	日	14:00～18:10	サンバルネ・ホール	町田(光)	
稲門祭	20	日	―	早稲田大学	―	―	―	―	阿部茂	

編集後記

〇ここ 2, 3 年の夏の暑さは、明らかに従来とは違う。昼間の活動は極力避け、外出は朝夕に。そして一日中エアコンのお世話になる。涼を呼ぶ夕立ではなく、危険さえ感じるゲリラ豪雨。孫の幼稚園では、「今日は暑いのでプールは中止」となるらしい。

〇久々の屋外活動の案内が 2 件。世話人が交代して初の『ウォーキングの会』(11 月 7 日)と、市内の川を巡る『郷土史の会』(11 月 16 日)。心地よい秋、体を動かしませんか？(藤井 省 記)

次号の締め切りは 10 月 17 日(木)です。皆様の投稿をお待ちしています。
送付先 藤井 省 および 伊藤 栄

ホームページ
カレンダー



俳壇

菊田 一平
尾を振ってリスがリス追う暮の秋
懸巢また鳴いて素つ頓狂な声

黒田 柿黒
この色かおり故郷の新米来
全力も転ばぬように徒競走

小久保 野火児
竜胆の紫深きところまで
旧軽の町並み消える濃霧かな

副島 鶴来
天高し唐津弁聞く陶器市
風待ちの男女黙して温め酒

中沢 豆乳
廃校の軒先拝借柿吊す
秋夕焼け黒いマントの人さらい

森川 ねここ
湯上りの髪のしづくや夕化粧
さはやかやビブラフォンの音流れる

山口 泰山
天高し日本列島晴マーク
秋ふかし天文台は森の奥